

混ざり，交わり，つながる。



京大川崎研究室

上坂耕平. 潰瀧佑哉. 中尾翔
Benjamin Morrison. Wang Hanlin

1. 新長田南地区の現状



震災以降

- ・神戸の中心市街地にほど近い環境の、**ベッドタウン**としての発展を見せており、人口は震災前の約1.4倍に達する。
- ・新たな住民が増えているものの、消費者のニーズや消費行動の変化に加えて、店舗の経営者の高齢化や後継者がいないことなど、商業は停滞・衰退し続けている。
- ・かつての新長田を支えていたケミカルシューズ産業は衰退し、新たな産業がまだ確立されていない。

震災以前

ケミカルシューズ産業を中心に、住・商・工が相互に発展も、徐々に衰退。

震災

再開発により、都心に近い居住区として成長したが、新規の流入により、以前の**新長田**と新しい**新長田**との融合が上手くいっていない。

2. 新長田南地区の現状

資源

○ 下町文化

- ・ 漁業
- ・ 下町グルメ
- ・ 丸五市場

○ 新しい文化

- ・ 多文化交流
- ・ アート
- ・ ダンス
- ・ 映画資料館

○ 住みよい住環境

- ・ 交通利便性
- ・ 福祉施設
- ・ 病院の移転
- ・ 子ども連れ
- ・ 商店街の空間活用

課題

● 地域文化の喪失

- ・ 再開発による新規流入、後継者不足
- ・ 高齢化
- ・ コミュニティの衰退

● 地域の魅力不足

- ・ 商店街のデザイン性に欠けたレイアウト
- ・ 昼間人口の呼び込み

● 歩行者ネットワーク

- ・ 三層構造の利活用不足
- ・ 自転車交通の多さ

2. 新長田の目指すべき未来

課題解決へ — 今ある資源を **繋げる** —

01.

課題

- ・高齢化
- ・コミュニティの衰退

資源

- ・福祉施設
- ・多文化交流
- ・丸五市場

定住外国人の多い新長田ならではの国際色豊かな地域文化交流・コミュニティ形成を実現する。

02.

課題

- ・後継者不足
- ・昼間人口の呼び込み

資源

- ・アート、クリエイター活動
- ・下町文化

新長田で生まれたアートという文化を下町文化と融合し、新長田独自の新たな文化を作り上げ、地域の活性化、昼間人口の増加に繋げる。

03.

課題

- ・歩行者ネットワークの活用不足
- ・デザイン性

資源

- ・商店街・三層構造の空間活用
- ・住みよい住環境

歩きたいまちを目指し、三層ネットワークの意図を明確化、家族連れや高齢者、障害者等すべての人々にやさしい緑豊かな自然に近いまちを実現する。

3. コンセプト

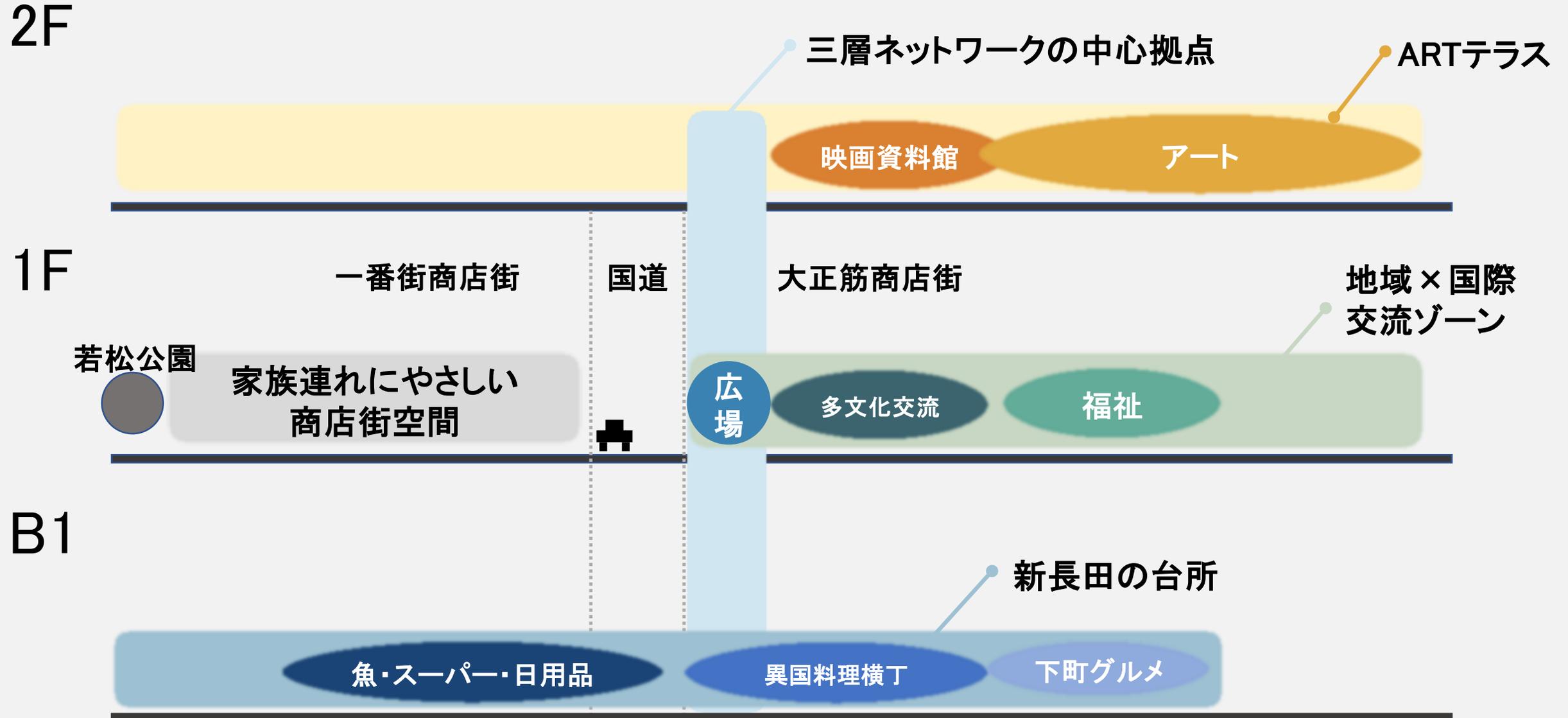
混ざり，交わり，つながる。

01. 新長田 × 海外
地域の人々、そして外国人も住みやすいまちへ

02. 伝統 × 新しい文化
地域文化とアート・クリエイター活動の融合

03. まち × 自然
緑あふれる、歩きたいまちへ

4. 三層構造の利活用



5-1. 商店街 1F デザイン検討



1F

1F

一番街商店街

大正筋商店街

地域×国際
交流ゾーン

若松公園

家族連れにやさしい
商店街空間

広場

多文化交
流

福祉

まち×自然

屋根は『空』を感じられるように部分的に開放する。
商店街の避難所としての役割も考え、雨をしのげるよう、所々屋根を残す。

まち×自然

商店街に緑をもたらす。自然の中で歩く喜びを与えてくれる。
植栽やベンチを適切に配置することで、それぞれの利用者の通り道を自然に分離でき、また自転車の速度を制限することができる。

新長田×海外

ベンチ・植栽等により、商店街を歩行者・自転車等、利用者全員の共有スペースとする。歩行者の活動の幅を広げるような空間活用が可能となり、地域の人々や定住外国人の交流拠点となる。

5-1. 商店街 1F 空間活用提案



新長田 × 海外

KICCを中心とした、定住外国人の多い新長田独自の空間

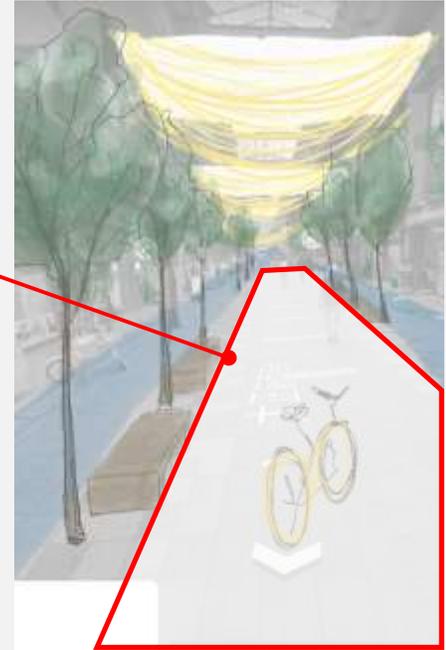
○地域 × 国際交流ゾーン

・商店街中央の植栽に囲まれたスペースやテナントを活用し、**地域住民(日本人、外国人、子供)の文化的交流及び外国語学習**を目的にイベントの実施。

食 日本料理or他国の郷土料理を作って試食する会。空きテナントや商店街沿いで屋台を利用して料理。

丸五市場との連携も

衣 いくつかの国の伝統衣装を用意し、その勉強や試着(写真)会を開催。



韓国;チマチョゴリ
KONESTより



K-POP人気を背景に、長田区の定住外国人の半数以上を占める韓国人の文化や韓国語を体感したい若年層を集める。

5-2. 商店街 2F デザイン検討



2F ARTテラス

映画資料館

アート

● まち × 自然

空の見える天井はステンレスワイヤーで装飾し、デザイン性を持たせる。

● 伝統 × 新しい文化

長年にわたり愛されてきた商店街の骨格は壊すことなく、二階の外壁のみを取り除き、開放感のある**ARTテラス**へ。

一階から二階へと視線を誘導し、商店街の閉塞感を軽減するとともに、現在ほとんど人通りのない**二階を歩くことに意味を持たせる。**

5-2. 商店街 2F 空間活用提案

2F

ARTテラス

映画資料館

アート

伝統 × 新しい文化

新長田に生まれたアートという資源を地域の中心地・商店街に

○ARTテラス

2階の通路を用いてアーティスト、クリエイターの作品、映画資料、手形(既存)を展示できるギャラリーに。定期的に作家を募集し、歴史ある商店街に新しい風を送り続ける。
また、1Fでのダンスボックスやイベントを上から閲覧できる観客席にも。

○新長田アートの日！

作品巡り × 下町グルメ

ダンスボックス主催のイベントや週末など商店街の人通りが多いタイミングで

- ・2階エリアにあるキーワード
- ・2階エリアで気に入った作品/作者

を答えてもらうことで地域内のお店で使えるクーポンを配布する。

5-2. 商店街 B1 デザイン検討・空間活用提案



出町榭形商店街



B1

新長田の台所

魚・スーパー・日用品

異国料理横丁

下町グルメ

○新長田の台所

B1は現在もスーパーが多数存在し、地域の人々が多く訪れる消費者ニーズに合った場所だといえる。

その特性を生かしつつ、地域の人々にも、外から来た人々にも愛される空間を作る。

●異国料理横丁

1Fの多文化交流ゾーンから吹き抜けとなるエリアでは、グラデーションを考えて、丸五市場のような**アジア各国の料理店**を誘致。さらに奥へ進むと、**下町グルメ**のお店が軒を連ねる。

これだけ都心に近い漁港は新長田独自の大きな資源。

今あるスーパー・鮮魚店・青果店に加え、さらに魚市場のように整備することで、長田港で採れた魚を直送し、新鮮な魚を消費者に届ける。

デザインもあえて昔ながらの活気ある商店街のようにすることで、1Fとの差別化をはかり、下町文化を親しみやすい雰囲気に。



地域の人々だけでなく、都心近郊に住む、新鮮な魚に飢えた人々やグルメを目的に来る人々をまちの外から集める。

